

「Quo Vadis the WTO?: ドーハラウンドの将来と 国際通商レジームの管理」

WTO ドーハラウンドは停滞から脱却できるのか?
地域貿易協定 (RTA) の拡大の流れの中で WTO 機能の再活性化は可能か?

- ◆日時：2007年8月6日(月) 9:45 - 17:55
- ◆会場：東海大学校友会館 阿蘇の間
(東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 33F)
<http://www.tokai33.co.jp/access.html>
- ◆開催言語：日本語⇄英語(同時通訳あり)
- ◆参加費：1,000円(交流会費を含む)[公印を捺印した領収書を発行いたします]
- ◆主催：独立行政法人経済産業研究所
- ◆お問合せ：RIETI コンファレンス担当 (e-mail: conf-wto2@rieti.go.jp)
Tel: 03-3501-8398 FAX: 03-3501-8416
URL: <http://www.rieti.go.jp>

プログラム

(順不同)

「はじめに：国際通商レジームの現在」 川瀬剛志 (RIETI FF/ 大阪大学大学院准教授)

第1部 「代替レジームとしての地域経済統合 - その法制度化と WTO のインターフェイス」

- ・プレゼンテーション：KIM Jong Bum (Associate Professor, KDI School of Public Policy and Management)
川瀬剛志 / 鈴木将文 (名古屋大学大学院教授) / 東條吉純 (立教大学教授) / 田中繁広 (経済産業省経済連携課長)

第2部 「通商レジームの将来と WTO の役割」

- ・プレゼンテーション：S. Bruce WILSON (Director, Legal Affairs Division, WTO) / 荒木一郎 (横浜国立大学大学院教授)
金原主幸 (経団連国際第一本部長) / Marco C. E. J. BRONCKERS (Wilmer Cutler Pickering Hale and Dorr LLP)
Anwarul HODA (Member, Planning Commission, Government of India) / 広瀬直 (経済産業省 通商機構部参事官)

パネルディスカッション

「総括コメント：ドーハラウンドおよびその通商レジームの将来に対する意義」 小寺 彰 (RIETI FF/ 東京大学大学院教授)

- ・パネルディスカッション：小寺 彰 / S. Bruce WILSON / Marco C. E. J. BRONCKERS / Anwarul HODA / 広瀬直

* S. Bruce WILSON 氏の発言は全て引用禁止です。